

第187回(令和7年5月度)ウォーキング同好会の報告

天気予報の雨模様(少雨予報)を心配しつつ、光市の伊藤公記念公園から東荷神社鳥居までの自然が豊かで歴史を感じる田園風景の中を5月17日(土)に実施。当日は、公園駐車場を起点に東荷神社方面に向けて出発。途中急な雨に見舞われ東荷神社(約100段の階段がある)までは行かず東荷神社の鳥居前で休憩。休憩後、東荷神社の鳥居を引き返しまほろばの里を経由し田植え時期の田園風景を眺めながら伊藤公生家に到着。駐車場近くの東屋で昼食をした後、駐車場に戻り解散。今回は、出発直後に10分程度の雨に遭遇したが、蒸し暑さを感じながらも爽やかなウォーキングを実施。

- 10時00分：伊藤公公園駐車場を東荷神社方面に向けて出発。
- 10時20分：東荷神社の鳥居前で休憩後、(約100段の階段がある境内には行かず)、鳥居から引き返す。
- 11時10分：静かな田植え時期の田園風景を眺めながらまほろばの里を経由し伊藤公生家に到着。
- 11時35分：伊藤公生家を見学後、駐車場近くの東屋で昼食。
- 12時00分：昼食後、伊藤公公園駐車場に戻り解散。

(本日の万歩計：8,300歩、参加者：7名)

以上、次回のウォーキングも宜しくお願い致します。

A Y S A交流啓発・健康福祉部会

(ウォーキング同好会)世話人：長棟章



旧：伊藤博文邸



ゲッポの里



ゲッポの里



ウォーキング中



ウォーキング中



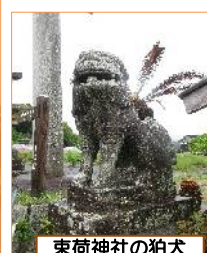
東荷神社の狛犬



参加者の皆様



参加者の皆様



東荷神社の狛犬



田園風景



伊藤公の幼年時代



伊藤公の生家



ひかり名木百選 モミジ



産湯の水



ウォーキング中



ウォーキング中



ウォーキング中

＜＜参考＞＞説明看板より

- ・伊藤公生家：天保12年(1841年)9月2日にこの地で生まれた伊藤公は6歳までこの生家で過ごす。
- ・悠然天地心：明治天皇が山口県を訪れた時に随行した伊藤公がその時の思いをしたためた五言絶句の一節。「ゆったりとした天地の心を感じて事にあたりたい」という意味。

次回(第188回)のウォーキングは、6月21日(土)に実施予定です



東屋で昼食と談笑